



大屋 祐輔

病院長

巻頭の挨拶

明けましておめでとうございます

2020年は新型コロナウイルス感染症のために世の中が一変しました。外来患者さん、入院患者さん、およびご家族の方には、たいへんご不自由をおかけしています。

琉大病院は、地域の中核病院として、また、高度医療を提供する病院として、他の病院と役割分担を行いつつ、大学でしか行うことができない診療を含め幅広く診療を行っています。また、皆様に少しでも安心して受診および入院していただけるように、感染対策チームを筆頭に病院全体で感染予防対策に取り組んでおります。この難局を乗り越えるためにも、引き続き、ご理解、ご協力、ご支援のほどお願い申し上げます。

さて、琉大病院では、入院前オリエンテーションのための来院をお願いしています。病院に来る回数が1回増えるように感じられるかも知れませんが、このように入院前の段階から、入院中や入院後のことまで、診療の流れを確認して、より安全に、より効率的に入院診療を行うことで、結果としては、診療に要する日数全体は減っていくとされています。

より安全で、質の高い診療のために、ご協力をお願い申し上げます。



就任の挨拶



和田 直樹

病理診断科長

病理診断を通して、患者さんの治療や医療の質の向上に貢献致します

琉球大学病院病理診断科長を拝命致しました和田直樹(わだなおき)と申します。

2020年NHK大河ドラマのメインキャスト中で最年少の国民的人気若手女優、芦田愛菜さん(明智光秀の愛娘、のちの細川ガラシャ、たま役)が病理医に将来なりたいとテレビで語って下さったのは2017年でした。また、現在、病理医を題材にした漫画が連載中であることをご存知の方もいらっしゃると思います。

近年、国民的人気若手女優や漫画のおかげもあり、病理医が少しずつ世間の皆様に知られるようになってまいりました。病理医は、顕微鏡をパートナーとして、主に組織診断・細胞診断を行う仕事です。医学部6回生の時、その仕事にやりがいがあるという確信をもって病理医を志しました。大阪市立大学を卒業後、一貫して病理医としての道を大学(大阪大学・大阪市立大学)および大学の主要関連病院で

歩んでまいりました。そして、このたび、一貫して病理医として歩んでまいりました経験を琉球大学病院で活かす機会を戴きました。学生時代、この仕事にやりがいがあるという確信をもって病理医を志した気持ちは今でも全く変わっておりません。むしろ、その気持ちは強まっております。

病理診断は、治療方針の決定や手術の妥当性の評価など、医療の根幹に関わる医行為であり、的確な病理診断は様々な疾患の治療の基本となります。病理診断を通して、患者さんの治療や医療の質の向上に貢献致します。どうぞ宜しくお願い致します。

就任の挨拶



古川 浩二郎

第二外科長

全国トップレベルの心臓・血管・肺の外科治療・カテーテル治療を提供して参ります！

2020年9月1日付けで胸部心臓血管外科(第二外科)教授を拝命しました古川浩二郎と申します。どうぞよろしくお願い致します。

私は、1988年に佐賀医科大学を卒業し、主に心臓血管外科を専門に診療に当たって参りました。心臓大血管手術全般を行っていますが、特に弁膜症に対する人工弁を使わない形成術(修理)や大動脈疾患に対する人工血管置換術を得意にしております。また、当科においては弁膜症に対するカテーテル治療・大動脈瘤に対するステントグラフト治療・人工心臓治療・下肢の血管疾患に対する治療・肺癌に対する胸腔鏡手術など、それぞれの領域でのエキスパートが揃っています。したがってすべての胸部心臓血管疾患に対して安心・安全かつ最先端の治療を提供することができます。また、お一人一人の患者さんに対してベストな治療を提供する

べく、多職種(内科医・外科医・看護師・臨床工学技士・理学療法士)のチーム医療を実践しています。

昨今は、高齢の方や糖尿病をはじめ併存疾患をかかえる患者さんが多く、多分野の専門家の協力なくしては上記の治療を達成することはできません。琉球大学病院では当科だけでなくすべての診療科にそれぞれの専門家がおり、すべての英知を結集して診療を行っていることが大学病院の強みであると思います。

今後もスタッフ一同、チーム一丸となり全国トップレベルの心臓・血管・肺の外科治療・カテーテル治療を提供して参ります。お気軽にご相談下さい。

沖縄からCOVID-19の治療薬開発へ！ 琉球大学が全国で医師主導治験を開始

2020年11月5日、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の重症化を防ぐ治療薬開発のため、横浜市立大学などと共同で医師主導治験を開始すると記者発表しました。琉球大学が主たる研究施設となる医師主導治験の実施は開院以来これが2つ目であり、また本治験は日本医療研究開発機構（AMED）の研究課題として採択されています。

今回行う治験は第Ⅱ相試験であり、酸素投与を必要としない軽症～中等症のCOVID-19患者さんに治験薬を投与し、コルヒチンの過剰炎症抑制効果を検証します。

COVID-19治療には、抗ウイルス薬、抗炎症薬、抗凝固薬などが用いられますが、現在本邦で承認されている薬剤は抗ウイルス薬のレムデシビルと抗炎症薬のデキサメタゾンのみであり、両者とも酸素投与が必要な重症患者さんが対象となります。一方、酸素投与を必要としない患者さん（重症度分類の軽症・中等症Ⅰ）に対しては、年齢、基礎疾患、重症度に応じて、適応外使用となりますがファビピラビル（アビガン®）を中心とした治療を行うことが一般的です。しかし、高齢の方や持病をお持ちの方は肺炎が悪化して酸素投与が必要な状態へと悪化する危険性が高くなります。琉球大学の研究チームは、重症化リスクを有する患者さんに前もって抗炎症薬を予防投与しておけば、その後の重症化を抑制できるのではないかと考え、その抗炎症薬の候補としてコルヒチンという薬に目をつけました。

この治験は酸素投与を必要としない軽症～中等症のCOVID-19患者さん100人を対象とし、2021年（令和3年）1月から県内外の9つの医療機関にて実施される予定です。

この治験でコルヒチンの有効性が確認できた場合、より規模の大きな試験で臨床的有効性を確認し、薬事承認を目指します。COVID-19は重症化すると、患者のみならず医療者側の負担も増えてしまいます。コルヒチンが重症化を抑制できれば、患者・医療者双方の負担を軽減することが期待されます。



記者発表の様子

左から池原由美 特命助教、植田真一郎 教授、金城武士 助教、
石田肇 医学研究科長・医学部長、大屋祐輔 琉球大学病院長



説明を行う 金城武士 助教

沖縄バスケットボール株式会社と メディカルパートナー協定を締結

2020年9月30日、琉球大学病院において、沖縄バスケットボール株式会社と琉球大学病院とのメディカルパートナー協定締結式を開催しました。

本協定は、2020年10月から始まるBリーグ2020—2021シーズンにおいて、本院整形外科所属の医師が琉球ゴールデンキングスのチームドクターを担うこととなり、沖縄バスケットボール株式会社とメディカルパートナー協定を締結する運びとなりました。

沖縄バスケットボール株式会社、木村社長から挨拶が述べられ、「沖縄をもっと元気にするのに、琉球ゴールデンキングスが元気でなければならない。琉球大学の皆様が琉球ゴールデンキングスを元気にしていただき、好循環により沖縄を元気にしていくという使命で、一緒に取り組んでいきたい」と今後の連携への抱負が述べられました。

琉球大学病院、大屋病院長から挨拶が行われ、「本院は1970年に開設し50周年を迎えることとなった。これを機に、医学部附属病院も大学病院に名称を変えたが、それはより県民の近くに寄り添いたいという気持ちからである。今回、病院を上げてメディカルパートナーシップを進めていくが、私ども病院がしっかり選手の健康面、チームの安心安全な運営を支え、選手や会社の皆様には試合に集中していただき、実力をさらに発揮していただくことを願っている」と述べられました。

琉球大学病院は、これからも地域に寄り添い、沖縄の元気、県民の安心、安全、健康を護り、県民の皆様から愛される病院となるよう日々精進してまいります。



関係者による記念撮影

左から：鬼村 事務部長、東 整形外科講師、安永 取締役、木村 社長、
大屋 病院長、西田 整形外科長、仲宗根 整形外科講師

琉大病院『経カテーテル大動脈弁置換術 (TAVI) 専門施設認定』報告

第二外科 診療講師 **永野 貴昭**



図1：TAVI専門施設認定書



図2：Valve in Valve

大動脈弁狭窄症(AS)は大動脈弁の開放が制限される病態で、原因は、主に加齢による動脈硬化性変化です。特に有症状(狭心痛、失神、心不全)の重症ASは、予後不良で、以前は開胸による大動脈弁置換術(SAVR)が唯一の治療法でした。しかしながら、高齢・脆弱性・合併疾患のために開胸手術不能例、ハイリスクな患者さんが少なからず存在します。このような患者さんに対して、カテーテルを用いて大動脈弁位に生体弁を留置する治療法が経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI:タビ)です。本邦でも2013年10月に認可され、現在では全国177施設で、累計症例数が22,000例を超える状況です。当院は、沖縄県唯一のTAVI認定施設で、導入後5年間で268例施行しました。他府県に比べて高齢かつ重症度・脆弱性の高い状況にもかかわらず、手術死亡(術後30日以内)は0.7%で、自宅退院率も84%と良好な成績でした。平均手技時間も 71 ± 41 分で、手技に熟練した最近では平均25分前後と患者さんへの負担もかなり軽減されています。

TAVI専門施設とは、一定数の治療経験(年間平均50例以上:直近3年、計150例以上)があり、1名以上の指導医が在籍していることが条件で、2020年3月に琉球大学病院は認定されました(図1)。全国でもわずか26施設(2020年10月時点:九州・沖縄では3施設)しか専門施設認定されておらず、全国でも有数のTAVI実施施設となっています。

この専門施設に認定されることで、すでに開胸手術で生体弁を植え込んだ患者さんで、弁機能不全(人工弁劣化)が原因で再手術が必要な方へのTAVI治療、いわゆる「Valve in Valve」が可能になりました(図2)。更に現時点では透析患者へのTAVI治療は適応外とされていますが、今後適応拡大が見込まれており、専門施設を優先に「透析患者へのTAVI治療」が開始される予定です。

最新の弁膜症ガイドライン(日本循環器学会:2020年改訂版)上でも75歳以下はSAVR、80歳以上はTAVIを優先的に考慮するとの指標が発表されました。従来のSAVRに加え、体への負担の少ないTAVI治療が可能になったことで、手術の選択肢が増え、患者さんに最適な治療が適用できる新たな時代になりました。

このTAVIに関するご連絡ご質問は、医療情報提供書を、第三内科岩淵 成志あるいは第二外科永野貴昭宛で、本院医療福祉支援センター(シエント)098-895-1371、FAX 098-895-1498へお願いします。

リハビリテーション部 作 自宅で手軽に 《エクササイズ》 動画ができました!

狭いスペースでもできるエクササイズ動画を制作しました。

足腰が不安な方でもできる座って行う体操動画と、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の予防を目的とした立って行う体操動画です。ゆっくりなリズムで自宅で手軽にできる内容となっております。

右下のQRコードから動画を確認いただけます。ぜひご活用ください。

(動画サイトYouTubeへ移動します)



お知らせ

患者・ご家族の皆さんへのお願い

患者・ご家族の皆さんへお願い

現在、医師をはじめ、医療従事者の長時間におよぶ過重労働
が大きな社会問題となっております。

このことを踏まえ本院では、患者さんへ提供する医療の質と
安全を確保する観点からも、医療従事者が疲弊せずに働けるよ
う、時間外労働の縮減に取り組んでいます。

この取組のひとつとして、

緊急ではない場合の病状説明等は
原則、平日の診療時間内
8:30~17:15

といたします。

今後も、病める人の立場に立った
安心・安全で信頼される医療を提供
することに努めて参りますので、
皆様のご理解とご協力の程、よろ
しくお願い申し上げます。



法・理・大・学・病・院

確認重要!!

あなたのために

姓と名 生年月日



何度も聞いて
ごめんなさい。

安全管理対策室

診療科	専門外来	月	火	水	木	金	備考
第一内科	感染症内科	●	●		●	●	新患は要紹介状・要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約） 肺腫瘍・火・金曜日
	呼吸器内科	●	●		●	●	
	消化器内科（消化管）	●	●		●	●	黄線虫外来：木曜日
	（肝臓）	●	●		●	●	
	（胆道・膵臓）	●	●		●	●	
第二内科	膠原病・リウマチ内科	●	●	●		●	新患は要紹介状、院外は要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約）
	血液内科（骨髄移植外来含む）		●	●		●	
	成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)外来		●	●		●	
	肥満症（生活習慣病）		●	●		●	
	糖尿病・代謝内科	●	●	●		●	糖尿病外来は専用フォーム有（月曜日は、院内入院糖尿病患者の紹介のみ）
	遺伝性脂質異常症・動脈硬化性疾患外来		●	●			
	インスリンポンプ外来 （CSII / SAP）	●	●				
	内分泌内科	●	●	●		●	
第三内科	骨粗鬆症・男性更年期(LOH)		●	●			
	女性医師による女性外来					●	
	脳神経内科	●		●	●		新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る）
循環器科	高血圧・腎臓内科	●		●	●	●	（院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約）
	高齢内科			●	●		
第一外科	循環器内科	●			●		新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約）
	上部消化管外科	●		●			
	下部消化管外科・肛門外科			●	●		新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約） （乳幼児、学校健診も含む）
	新患・移植			●	●		
	肝胆膵外科	●		●	●		
	乳腺・甲状腺外科	●		●	●		
第二外科	小児外科	●		●			小児外科は午後のみ
	呼吸器外科		●		●		新患は要紹介状
	心臓血管外科		●		●	●	呼吸器外科：原則要予約（医療福祉支援センター・内線1371で予約） 院内紹介は事前に電話相談
	ステント外来		●			●	心臓血管外科：木曜日：新患は要予約、再来は予約のみ 血管外科：原則要予約（医療福祉支援センター・内線1371で予約） 木曜日は、再来予約のみ
脳神経外科	血管外科		●		●	●	
	一般・腫瘍	●		●		●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る）
	脳血管障害	●		●		●	他院・他科からの紹介・予約患者は10時～11時に受付 （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約、院内からの紹介は脳外科外来受付（月・水・金）内線1307で予約）
	新患・再	●		●		●	
	神経・心臓	●		●		●	
	ニューロリハビリ	●		●		●	緊急を要する患者は医局1171または病棟3801へ連絡し当日の当直医（担当医）が対応します。
整形外科	言語リハビリ	●					
	脊椎・脊髄	●		●		●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る）
	骨・軟部腫瘍			●		●	（院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約）
	股関節・人工関節（股・膝）	●				●	
	リウマチ・足・足関節			●		●	
	スポーツ・膝	●		●		●	
	スポーツ・肩	●		●		●	
	手外科（上肢先天疾患）	●		●		●	
形成外科	小児整形	●		●		●	※乳児股関節検診の精密検査は要予約 整形外科内線1301で予約
	骨粗鬆症	●		●		●	※診断書作成に関する身体計測の依頼は月曜日午後（要確認）
	新患・一般再来（午前）		●		●		新患は要紹介状
	※形成一般（午後）	●					
	再建外来（術前）（午後）				●		
産科婦人科	※リンパ浮腫外来（午後）				●		※リンパ浮腫外来は、第1から第4木曜日のみ
	耳のかたち外来（午後）				●		・耳のかたち外来は、第2、第4木曜日のみ
	新患・一般再来	●		●		●	【婦人科・生殖不妊・内分泌・骨粗鬆症】
	産科	●		●		●	新患は、要紹介状・要予約
	婦人科	●	※	●	※	●	（院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約） 【産科】紹介状有りが望ましいが、科の特殊性として紹介状なしでも診察します。 ※火曜日・木曜日・予約再来のみ
小児科	生殖不妊・内分泌・骨粗鬆症	●		●		●	
	新患・一般再来	●		●	●	●	新患は要紹介状・要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約）
	腎臓	●			●		
	アレルギー	●					
	内分泌			●	●		小児循環器専門医は不在
	遺伝・先天代謝異常			●			
	神経	●			●		
	新生児	●				●	
皮膚科	血液（移植外来）			●		●	
	膠原病	●				●	
	長期フォローアップ外来					●	※第2、第4週 金曜午後（院内患者のみ）
	皮膚病		●		●	●	新患は要紹介状
	皮膚外科		●		●	●	
腎泌尿器外科	乾癬		●				
	強皮症・皮膚筋炎		●		●		
	腎泌尿器外科	●	●			●	新患は要紹介状、要予約（医療機関からの申込みに限る） （院外からの紹介は、医療福祉支援センター・内線1371で予約）
	再	●	●			●	
	小児泌尿器外科	●					小児泌尿器外来：月曜日午後（予約再来のみ） ：金曜日午前（新患のみ）
耳鼻咽喉科	腎移植外来（午前 新患）	●					腎移植外来：午前は新患のみ、午後は再来
	腎移植外来（午後 再来）	●	●				
	新患	●		●	●		新患は要紹介状
	甲状腺・頭頸部腫瘍	●		●	●		院内紹介は、電子カルテ上の紹介状での予約必要
	鼻副鼻腔・アレルギー	●		●	●		
	中耳炎・難聴・めまい・顔面神経	●		●	●		
	人工内耳			●	●		
	幼児難聴・補聴器	●		●	●		
	口腔咽喉頭・唾液腺	●		●	●		
	管・声帯・嚥下	●		●	●		
	頭部エコー外来	●		●	●		
	アレルギー・免疫治療外来				●		アレルギー・免疫治療外来：予約再来のみ

(受付時間 午前8時30分～午前11時:予約がある場合は、その限りではありません。)

令和3年1月1日現在

診療科	専門外来	月	火	水	木	金	備考
眼科	緑内障	●		●			新患は予約制・要紹介状
	小児眼科			●			
	網膜硝子体	●	●		●		院内紹介は、電子カルテ上の紹介状で要予約
	神経・腫瘍・ぶどう膜	●		●			
精神科神経科	新一般再患		●		●	●	新患は予約制 院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約 (医療機関からの申込みに限る)
	児童・思春期外来	●				●	(院内他科通院中の方は当科外来受付・内線1306で予約) ※紹介状も必要です。
	光トポグラフィー外来	●	●		●	●	「光トポグラフィー外来」の予約、申込みは紹介元医療機関から
	睡眠外来					●	医療福祉支援センター・Fax(098-895-1498)にて
認知症疾患医療センター	もの忘れ診断外来		●			●	新患は要紹介状 原則予約制。 予約は認知症疾患医療センター:098-895-1765
放射線科	放射線診断・I・V・R			●		●	新患は要紹介状、要予約 (医療機関からの申込みに限る)
	CTガイド下PVP			●		●	院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約
	放射線・R・I			●			他院画像読影依頼は、放射線科医のいない医療機関の取り込み画像のみ可(フィルムは不可)
	放射線治療	●	●	●		●	※月曜日は緩和治療中心。要事前連絡、院内紹介のみ (連絡先:①4255 ②4365 ③3840)
麻酔科	麻酔科 ペインクリニック	●		●		●	新患は要予約(医療機関からの申込みに限る) 院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約
歯科口腔外科	新患・一般外来	●	●		●		新患は要紹介状
	口腔・口蓋裂	●	●		●		新患・一般外来: 月・火・木曜日
	顎変形症	●	●		●		
	腫瘍	●	●		●		水・金曜日は再診・院内紹介のみ。
リハビリテーション部	リハビリテーション科	●	●	●	●	●	リハ新患は、月～金(月曜日は検査優先・金曜日は要電話) リハ対象者は、入院患者のみ。以外は電話で要相談。 療養治療外来: 第1・第3月曜日午後(院内紹介のみ)
	心大血管リハ	●	●	●	●	●	心大血管リハ新患は、院内入院患者のみ。(月～金)
高気圧治療部	高気圧治療部	●		●	●	●	1)要紹介状。要事前電話。要胸写レントゲン(1ヶ月前までのもの:場合により、胸部CTをお願いする事あり) 2)治療実施の有無や治療予定については、原則、①入院症例:8時30分 ②外来症例:9時30分で行います。 3)急がれる場合も電話連絡をお願いします。院外からの場合は、現疾患と関連する診療科への相談を必ず行ってください。各診療科からの当部への紹介の形となります。
血液浄化療法部	血液浄化療法部	●	●	●	●	●	土曜日、祝日通常体制 夜間・日曜日はオンコール体制
地域医療部	地域医療部	●	●	●	●	●	※新患は原則要紹介状・要予約(医療機関からの申込みに限る) 院外からの紹介は医療福祉支援センター 内線1371で予約
総合診療センター	総合診療科部門	●	●	●	●	●	総合診療科部門は午前のみ※外来患者のみ
	禁煙外来		●	●		●	※新患は原則要紹介状・要予約(医療機関からの申込みに限る) 院外からの紹介は医療福祉支援センター・内線1371で予約
	漢方外来					●	火・水・金曜日の9:00、10:00 原則:要紹介状 ※当院通院中の外来患者のみ
	ワクチン外来 (感染対策室)		●			●	第3金曜日の午後のみ ※事前予約が望ましい
がんセンター	緩和ケア外来(身体的緩和部門)	●	●	●	●	●	火・金曜日の午後のみ(インフルエンザワクチンを除く) 予約制。総合診療センター・内線1310へ要連絡 (連絡受付時間:月～金曜日の14時～16時まで)
	緩和ケア外来(精神的緩和部門)		●	●	●		新患は要紹介状(火・木曜日は予約制)
	がん看護外来	●	●	●	●	●	月～金曜日 (9:00～12:00) 内線4766で予約
	がんゲノム医療外来			●			※新患は原則要紹介状・要予約(医療機関からの申込みに限る)
救急部	救急部	24時間診療					

本院の理念及び基本方針

理念

病める人の立場に立った、質の高い医療を提供するとともに、地域・社会に貢献する優れた医療人を育成する。

基本方針

1. 生命の尊厳を重んじた人間性豊かな医療の実践
2. 地域の医療・保健・福祉に対する貢献
3. 先端医療技術の開発・応用・評価
4. 専門性及び国際性を備える優れた医療人の育成
5. 働きやすくやりがいのある職場環境の整備

琉球大学病院では、患者さんを中心とした「安全・安心・思いやり」に基づくより良い医療を目指しております。患者さんとの深い信頼関係の上に成り立つ医療の大切さを十分に理解するとともに、患者さんには一人一人に次のような権利と責務があることを確認いたします。

●患者さんの権利●

1. あなたは、どんな場合でも、一人の人間として大切に扱われる権利があります。
2. あなたは、どのような境遇、環境であっても、専門家による平等で良質な医療を受ける権利があります。
3. あなたは、病気のことや治療について十分に教えてもらう権利があります。
4. あなたは、治療について意見を述べる権利と選択できる権利があります。
5. あなたは、あなた自身の話したこと、病気、身体について、知られたくないことを守られる権利があります。

●患者さんの責務●

1. 最善かつ適切な診療を行うために、あなた自身の健康状態についてできるだけ正確に伝えてください。
2. 主治医や担当医の治療や退院計画に主体的に取組み協力してください。
3. すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、病院の規則に従い、医療の妨げとならないように協力してください。特に攻撃的な態度や暴言、乱暴な行為は謹み、施設の所有物を大切に使うようにしてください。

本院までの交通機関

●那覇バス
所要時間:那覇バスターミナルより本院まで約50分

97番 琉大線
経路:那覇バスターミナル～教志～儀保～琉大病院前～長田～中部商業高校前～琉大北口
タクシー・乗用車での所要時間
●那覇市街より約25分 ●沖縄市街より約20分
●那覇空港より約35分 ●モノレール首里駅から10分
※モノレールでたご浦西駅からバス(97番)で10分

ボランティア募集

本院では、一般の方からの病院ボランティア(外来ロビーでの案内・補助等)を広く募集しております。

空いている時間を利用して、一緒に参加してみませんか?

まずはお気軽にご連絡ください。

【連絡先】総務課 098-895-3331

(内線:1006)

琉球大学病院

<http://www.hosp.u-ryukyu.ac.jp/>



電話(098)895-3331(代表)

医療福祉支援センター(内線1371)

〒903-0215 沖縄県西原町字上原207番地

HOT LINE

8